

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	男 50代	腎細胞癌 第4期 (癌疼痛, 腸 憩室炎, 骨転 移, 肺転移)	400mg (隔日) 217日間 ↓ 800mg 45日間 ↓ (60日間休 薬) ↓ 800mg 56日間	間質性肺炎 投与14日前 投与開始日 投与218日目 投与253日目 投与263日目 休薬33日目 休薬61日目 (再投与開始日) 再投与26-35日 目 再投与54日目 再投与57日目 (再投与中止日) 中止4日後 中止10日後 中止11日後 中止19日後	転移性骨腫瘍にて再診。CT所見:肺転移以外特記なし。 個人輸入にて本剤(400mg/隔日)投与開始。 本剤を800mg/日に増量。 胸部CTにて肺転移出現(肺転移のサイズと数が増加, それ以外特記なし)。 休薬。テセロイキン(遺伝子組換え)による治療開始(70万単位, 週3回)。 CT所見:肺転移の進行以外特記なし。 家族, 本人の希望強く, 本剤の投与再開。 再投与26, 27, 34, 35日目に人赤血球濃厚液2単位ずつ輸血。 呼吸困難が現れ始める。 呼吸困難にて入院。CT上, 右肺にはすりガラス様陰影, 左胸水著明であった。胸水 (再投与中止日) 穿刺では血性胸水(報告医によると, 胸水の原因は肺転移出血)。原疾患の状態: 骨・肺以外の転移はなく, 局所再発も画像上はなかった。 間質性肺炎の診断にて, 本剤投与中止。 SP-D(基準値:0-109.9ng/mL):70.4ng/mL KL-6(基準値:0-409U/mL):565U/mL 左胸腔内にトロツカー留置。細胞診:class4 胸写増悪。 ステロイド開始, リン酸デキサメタゾンナトリウム4mg。呼吸症状は改善あるも, 胸写 上は増悪。 SP-D:229.2ng/mL KL-6:625U/mL DLST:7.6%(+) 呼吸不全により死亡。剖検の有無:情報なし
併用薬:塩酸オキシコドン水和物, エトドラク, 塩酸ミルナシプラン, 酒石酸ゾルピデム, フルニトラゼパム, インターフェロンアル ファ(NAMALWA), ゴレドロン酸水和物, メクロプラミド, マレイン酸プロクロルペラジン, センノシド, 酸化マグネシウム					

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
2	男 70代	腎細胞癌 第4期 (リンパ節転 移)	800mg 39日間	間質性肺炎 既往歴：間質性肺炎，慢性腎不全，関節リウマチ 投与開始日 本剤(800mg/日)の投与開始。 投与40日目 この頃より食欲不振あり。本剤の投与中止。 (投与中止日) 中止3日後 朝，自宅で死亡に至った。 死後CTにて胸水貯留を認める。間質性肺炎の悪化が疑われる。 死因：呼吸不全，剖検：なし
併用薬：レバミピド，テプレノン，アクタリット，ファモチジン，プレドニゾン，アセトアミノフェン				